

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:平成27年度)

施設 の 名 称	御崎野営場
指 定 管 理 者 の 名 称	北日本ビル清掃株式会社
施 設 所 管 部 課 ( 室 )	経済商工観光部観光課

## 1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘 要
平成20年4月～平成23年3月	指定管理者	北日本ビル清掃株式会社	
平成23年4月～平成26年3月	指定管理者	北日本ビル清掃株式会社	
平成26年4月～平成29年3月	指定管理者	北日本ビル清掃株式会社	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

## 2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指 定 管 理 者 の 名 称	名 称	北日本ビル清掃株式会社
	所在地	気仙沼市松川前118
指 定 期 間	平成26年4月1日～平成29年3月31日(3か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

## 3. 施設の概要【施設所管課記入】

施 設 の 名 称	御崎野営場	
所 在 地	気仙沼市唐桑町崎浜地内	
設 置 年 月	昭和48年7月	
根 拠 条 例 等	野営場条例	
設 置 目 的	県民が野外生活を通じて、自然に親しみ、心身の健康の増進に寄与することを目的	
施 設 の 内 容	敷 地 面 積	約7,000㎡(市有地)
	構 造	
	内 容	管理棟, 共同炊事場, サニタリー棟, コンセルリンク等
開 館 ( 所 ) 日	無休	
開 館 ( 所 ) 時 間	受付時間 8:00～21:00	
指 定 管 理 者 が 行 う 業 務 の 範 囲	<input type="checkbox"/> 野営場施設の管理運営, 維持管理 <input type="checkbox"/> 施設の使用許可申請の受付及び許可並びに使用料の徴収業務 <input type="checkbox"/> 機械設備の操作・日常点検業務 <input type="checkbox"/> 施設の亡失等の届出受理業務及び報告業務	
利 用 料 金 制	採 用 の 有 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	利 用 料 金 の 名 称	

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
開館(所)日数	365 日	365 日	365 日	100.0%	100.0%
延べ利用者数	500 人	421 人	611 人	122.2%	145.1%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
野営場	500 人	421 人	611 人	122.2%	145.1%
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
合 計	500 人	421 人	611 人	122.2%	145.1%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
県指定管理料	1,749	1,749	1,749	100.0%	100.0%
利用料金収入				#DIV/0!	#DIV/0!
その他				#DIV/0!	#DIV/0!
収入計 (a)	1,749	1,749	1,749	100.0%	100.0%

(2) 支出

人件費	980	1,130	1,245	127.0%	110.2%
施設管理費	520	451	549	105.6%	121.7%
事業運営費	249	168	123	49.4%	73.2%
その他		0		#DIV/0!	#DIV/0!
支出計 (b)	1,749	1,749	1,917	109.6%	109.6%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	0	-168	#DIV/0!	#DIV/0!
前期繰越収支差額				#DIV/0!	#DIV/0!
次期繰越収支差額				#DIV/0!	#DIV/0!

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

6. 評価対象年度(平成27年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
①管理運営体制	指定管理者基本協定に基づき、施設を常に清潔かつ安全に保つとともに、施設の目的に沿って安定した管理運営に努めるため、従業員間の情報共有を図ったほか、料金の適切な処理を行うため、複数人でのチェックを心がけた。	施設の利用者数は、H26年度から約45%増加した。利用者からの苦情やトラブルもなく、円滑な施設管理を行えた。	A	H27年度はH26年度よりも利用者数が増え、震災前のH22年度の利用者数よりも多くなっており、使用料もH26に対して48%増となっている。また、毎月の使用料徴収状況報告について適切に報告されているほか、使用料の減免についても、疑問がある場合は県に相談するなど適切に事務処理されている。	A
②施設・設備の維持管理業務の実施	利用の頻りに合わせて、年間の維持管理計画を定めており、ほぼ計画どおり実施した。	月毎の維持管理計画に基づき実施したほか、利用者の多い時期は、適宜、施設の清掃を行った。	A	定期的な施設清掃や草刈を行うことにより、安全かつ快適なサービス提供を行うことができた。	S
③運営業務(ソフト事業等)の実施	地元新聞への広告掲載を行った。	限られた委託費の中で、広告宣伝を実施して、利用者の確保に努力した。	A	限られた委託費のなかで、指定管理者が大きく宣伝活動を行うことは難しいため、やむを得ないと思われる。	A
④自主事業の実施	特になし				
⑤利用者サービスの向上	5月のGWや7～9月の繁忙期には、現地管理人と連絡を密にし、利用者へのサービス及び満足度向上に努めた。	現場管理人に対しては、機会ある度に、接遇の重要性を説明し、接客態度の向上と利用者本位のサービスを行うよう、指導している。	A	利用者の側に立った対応を行い、特に苦情やトラブルはなかった。	A
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	特に苦情等はないが、施設(設備)については、従来型のキャンプ場であり、電源等が整備された他のキャンプ場と比較した場合、古さは否めないとと思われる。	H9年頃の大規模リニューアルから約17年が経過し、施設(設備)の痛みも目立ち始めた。今後は、計画的な修繕計画が必要ではないかと思われる。	A	県の財政状況から、施設の新たな再整備などは困難な状況であるものの、清潔で快適な施設管理を御願いたい。	A
⑦安全対策	野営場自体に危険な箇所はないが、海岸崖上に位置するため、遊歩道等を散策する時は注意するよう利用者に説明している。また、松の大木に囲まれた場所であり、強風後の見回り(枝折れ・倒木等)を実施している。	随時、利用者に対し注意を促すとともに、管理者として万全の注意を払っている。そのため、特に事故やトラブル等は発生していない。	A	特に事故等は発生しておらず、安全対策について考慮されている。	A
⑧県民の平等利用	誰でも利用できる施設である。	誰でも気軽に利用できるよう、適切な対応を行っている。	A	適切な対応を行っている。また、学校行事等については、減免処理により、適切な料金徴収を行っている。	A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	利用申請書には、住所、氏名、電話番号等を記載することから、個人情報条例に基づき適切に事務処理を行った。	条例等に基づき、十分に注意し、適切な管理運営を行った。	A	協定書に基づき、個人情報の処理については、十分な注意が払われている。	A
⑩利用実績	上記「4. 施設利用実績」のとおり	H27年度は、H26年度から約45%増加した。これは、震災前のH22年度よりも71名増加している。	S	利用者数を見る限り、東日本大震災の影響は、ほぼなくなったものと思われる。また、学校での野外活動等により利用者数の増加に結びついている。	S
⑪収支実績	上記「5. 管理運営実績」のとおり	適切な経費管理を行い、収支均衡に務めたが、日常業務等により人件費等が増大した。なお、利用料金については、期限内に県に納めた。	A	適切な管理を行い、経費節減に努めながら、委託費の適切な執行を行ったが、人件費等の増により支出が増加した。施設管理者の努力を期待したい。なお、利用料金については、期限内に納付されている。	B
⑫その他の取組	特になし				
総合評価		特に、事故やトラブル等もなく、利用者へのサービス向上に努めることができた。概ね適切に管理運営できたものと思います。	A	利用者数が増加し、利用料の収入は東日本大震災前のH22年度を上回ることができた。管理運営については、事故やトラブル、苦情等もなく適切に行われたと思われる。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	老朽化が進む施設について、今後どのような修繕(再整備)を行うか。また、回復した利用者を維持し、さらに増加させるためには、どのような対策が必要か検討する必要がある。	御崎野営場については、観光客だけでなく、近隣の幼稚園や小学生の利用もあることから、必要性はある。ただし、運営にあたっては、設置した県よりも、地元の気仙沼市へ移管し、気仙沼市が運営にあたった方が効果的・効率的であると思われる。